



城北中学校教育目標	生徒数
○思いやりのある生徒	1年 167名
○真剣に学ぶ生徒	2年 158名
○健康な生徒	3年 173名
	特別支援級 8名
	全校生徒 506名

以前のような日常が取り戻されつつあります

校長 遠藤 敏恵

10月25日、延期に延期を重ねた体育祭が無事終了しました。1回目は新型コロナの影響で、2回目は雨天に伴う延期でした。体育祭当日は、曇天の、最高でも15度程度しか気温が上がらないような日でしたが、子どもたちの笑顔があちらこちらにはじけていました。自分の番を待つ緊張した顔、競技中の真剣な顔、終わった瞬間のほっとした顔と、子どもたちが見せるたくさんの表情に心が温かくなりました。開催が危ぶまれることもありましたが、多くの方々のお陰で実施することができました。本当にありがとうございました。

体育祭の翌日、第21回さいたま市中学校駅伝競走大会が、浦和駒場スタジアム陸上競技場で行われました。今年度は、新型コロナ感染防止から、各校男女1チームずつ、出場区間順に、男子は6組、女子は5組に分かれてタイムを競い、合計タイムで順位を決める方法で実施されました。陸上競技部を始めとした複数の部活動等に所属する、1年生から3年生までのメンバーで結成された城北中駅伝部は、この大会をもって活動終了となりました。大会当日、走者として出場できたのは男女合わせて11名でしたが、どの選手も、共に練習を重ねてきた仲間の思いも背負い、渾身の力を振り絞った力走でした。互いに声を掛け合い、励まし合いながら、いつもひたむきに練習に臨んでいた部員のみなさんの姿は、いつまでも、携わった皆の心に残ることでしょう。本当にお疲れ様でした。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



最近、教科の授業や総合的な学習の時間で、生徒の皆さんが、SDGsについて考える場面を目にします。SDGsとは、**Sustainable Development Goals**（持続可能な開発目標）の略で、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な社会を実現するために、2030年までに世界が取り組む行動計画です。「貧困をなくそう」や「気候変動に具体的な対策を」といった17の目標（ゴール）から構成され、地球上の『誰一人取り残さない』という理念のもと、今がよければ、自分の国

だけが発展すれば幸せ、ということではなく、将来のこと、人類全体の繁栄を考えることであり、一部の人の力で解決できるという簡単なものではありません。

総合的な学習の時間で、17の目標の中で自分が一番興味を持ったものについて深く調べたり、社会科の授業で、スーパーで売られているバナナの値段の背景について考えたりすることを通して、皆さんも世界規模の課題について目を向け始めたところだと思います。日本政府のアクションプランを受け、具体的なSDGsへの取組を提示している企業も多くあると聞いています。是非、ご家庭での話題にもあげていただければ幸いです。